

やさしい中学地理 2-1 後半(p59~p66)チェック問題 氏名

- (1) 日本の北海道など、主に北緯40~60度あたりに広がる気候帯は〔① 〕である。ここでは針葉樹林、カタカナで〔② 〕が見られる。また住居の床は〔③ 高い / 低い 〕ものが多い。
- (2) 北極や南極に近い高緯度地域では、1日中太陽が沈まない時期があり、この現象を〔① 〕という。また夜が長く、昼間でも暗い日が続く時期もあり、この現象を〔② 〕という。
- (3) 北極や南極に近い高緯度地域では、1年中気温が低いのが特徴で、気候帯は〔① 〕に分類される。これはさらに、1年中氷や雪に覆われる〔② 気候〕と、夏にだけ地表の氷がとけて、コケ類などが生える〔③ 気候〕に分けられる。
- (4) カナダ北部の北極圏には、先住民の〔① 〕が住んでいる。この人たちは雪や氷を固めてつくった住居である〔② 〕を利用する。
- (5) 南アメリカ大陸西部には、険しい山脈が南北に連なる〔① 山脈〕がある。赤道から近いところでも、標高が高ければ温度は〔② 高く / 低く 〕なるので、過ごしやすい気候になる。このあたりに住む先住民を〔③ 〕という。標高が4000m以上の地域ではなかなか植物が育たないため〔④ や 〕などの放牧をして暮らしている。また〔⑤ 〕と呼ばれる服を着ている人も多い。

(1)①	(1)②	(1)③
(2)①	(2)②	(3)①
(3)②	(3)③	(4)①
(4)②	(5)①	(5)②
(5)③	(5)④	(5)⑤